

デイサービスやまだいふれあいの家 第2回運営推進会議 記録

日時：平成29年 5月19日 13:15～14:10

会場：やまだいふれあいの家 寺子屋

- 事業者名/所在地：社会福祉法人やまだい福祉会/岸和田市今木町160番地
- 事業所名/所在地：デイサービスやまだいふれあいの家/岸和田市田治米町425-1
- サービス種類：地域密着型通所介護（第二種社会福祉事業 老人デイサービスセンター）
- 出席者内訳：

分類	所属ほか	人数
地域住民の代表	民生委員	1名
地域包括支援センター	地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷職員	1名
利用者	利用者	2名
知見を有する者	介護福祉施設職員(他法人)	1名
事務局	施設長およびデイ管理者	2名

1. 開会あいさつ

*施設長から運営推進会議開催に至る社会情勢などの経緯と、施設全体の説明などを行った。

2. 委員紹介

*施設長から新委員含む出席者および事務局の紹介を行った。

3. デイの概要と運営状況について

*施設長から資料に基づき、概要・運営状況・地域貢献事業の取組などを説明した。

4. 委員からの意見・評価など

(「⇒」は意見等に対する事務局や委員からの回答)

- 色々法律や行政からのルールが複雑で厳しくなっており、良いようにしたいのに縛りが多く難しい時代になってきている気がする。
- 週1回でもデイにいけると思ったら気が張る。楽しんでいる。家族もその様子をみてくれている。昨年秋に怪我をして以降、やや調子が悪い。でもお隣の方は年上なのに健康でしっかりしていて、とても良い張り合いになっている。「頑張らないと」と感じる。家族は「年のわりに元気だ」と言ってくれているが、見放されたように感じることもある。

- 今は高齢者の2人に1人は認知症と言われている。身体を動かしたり、頭を使ったりが一番予防にきく。そういった活動をしっかりやられているようであるので、これからもがんばってほしい。
- 要介護4・5の人は当デイの利用はないようだが、その人たちはどこへ…？受け皿的には特養とか高齢者住宅とかになるのだろうか？
 - ⇒（他委員）私が勤めているような特養とかだと思います。逆に要介護3以下はめずらしいです。
 - ⇒（事務局）特養の待機待ちで、サービス付高齢者住宅や有料老人ホーム、あるいは在宅で介護保険サービスを駆使して、入所できるまで凌いでいるというケースも多いかと思います。
- 入浴支援事業はふれあいだけでなく、どこのデイでも実績がなさそう。ニーズは間違いなくありそうだが…
 - ⇒（事務局）当施設はアクセスが非常に悪い地域にあるので、自力で来ることができる方が前提になっていることも影響しているのだと思います。
 - ⇒（他委員）周りの目を気にして利用しにくいのかもかもしれない。
 - ⇒（事務局）それは、この昔ながらの「村」的な要素が残っている地域であるがゆえに、十分にあり得る要素だと思います。実際に、当デイ利用者については、山直校区の方が7～8割を占めますが、施設の所在地である田治米町在住の方については思ったより少ないのです。経営者が町内の顔見知りの人間であるがゆえに、利用しにくいという動機づけになってしまうのだと考えています。
- 介護予防・日常生活支援総合事業におけるデイの緩和型サービスの説明が、とても分かりやすかった。

5. 次回開催予定…平成29年11月

*施設長から、10月上旬に案内することを説明

配布資料：レジюме、委員名簿（資料1）、デイの概要と運営状況について（資料2）、デイサービスパンフレット、やまだい福祉会の概要、入浴支援モデル事業チラシ

※配布資料については、個人情報保護および経営戦略上の事由から掲載いたしません。